

令和7年度
駒ヶ根市外国籍市民意識調査
報告

(2025年8月17日時点)

JICA 海外協力隊 2025年度2次隊 グローカルプログラム実習生

佐々木美波 牧野想

令和7年度外国籍市民意識調査 概要

内容： 駒ヶ根市役所が作成。
平成22年度、平成27年度に実施した外国籍市民アンケート内容を踏襲。

対象： 16歳以上の駒ヶ根市在住の外国籍市民。
※駒ヶ根市で勤務していたり、地球人ネットワーク in こまがねに参加していたりする近隣地域に在住の方にもアンケートを実施。

期間： 2025年7月1日～2026年3月31日
※今回の集計結果は2025年7月1日～2025年8月17日の集計。

回収方法：①グローバルプログラム実習生による聞き取り調査
②日本語教室でのアンケート依頼
③Google フォームにてアンケート依頼（チラシ配布、地球人ネットワーク LINE グループに URL 貼り付け）
④外国人雇用事業者に依頼

回収場所：①地球人ネットワーク in こまがね
②企業訪問
③紹介

回収数： 86件 回答率10%（2025年8月17日時点）

目標： 100名
駒ヶ根市外国籍市民人数867名（2025年4月1日時点）

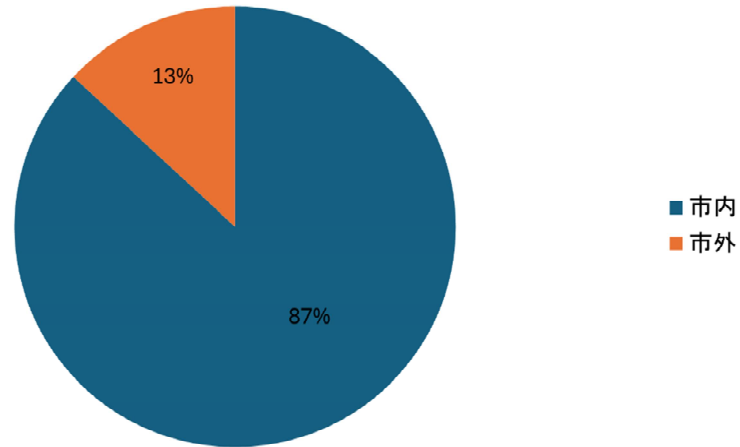
【参考】

平成22年度 対象600名 回答102名 回答率17%

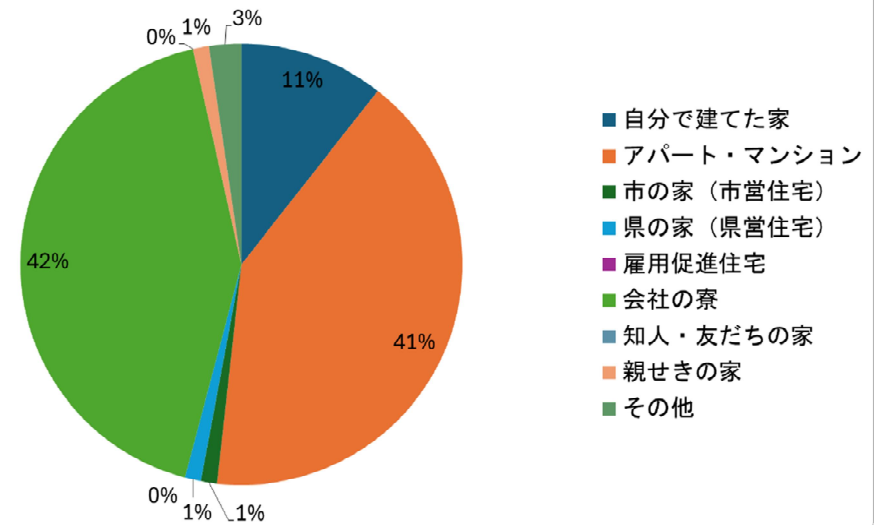
平成27年度 対象484名 回答67名 回答率13.8%

1. あなたや家族のことについて

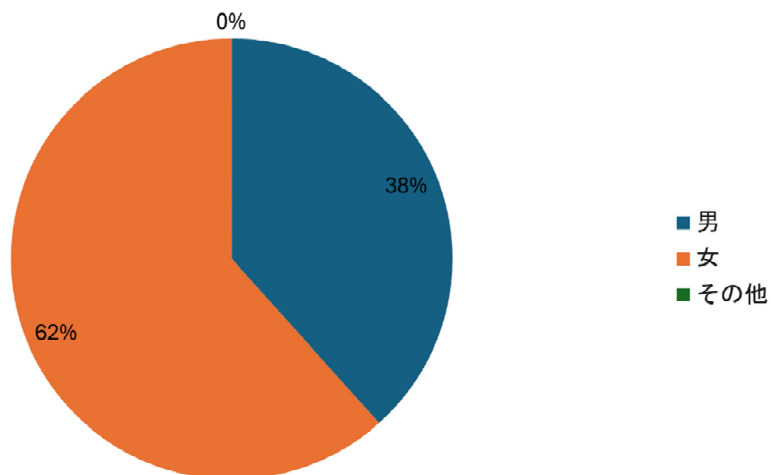
問1 あなたは現在どこに住んでいますか



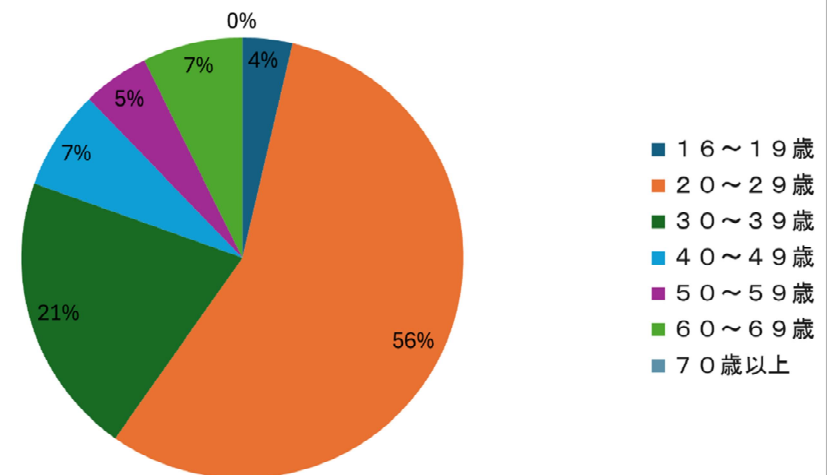
問2 あなたが住んでいる家はどれですか？（○は1つ）



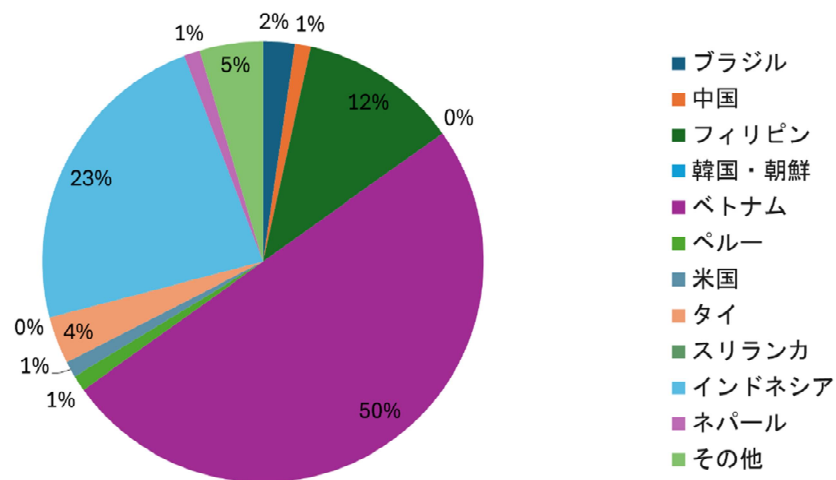
問3 あなたは男の人ですか？女の人ですか？（○は1つ）



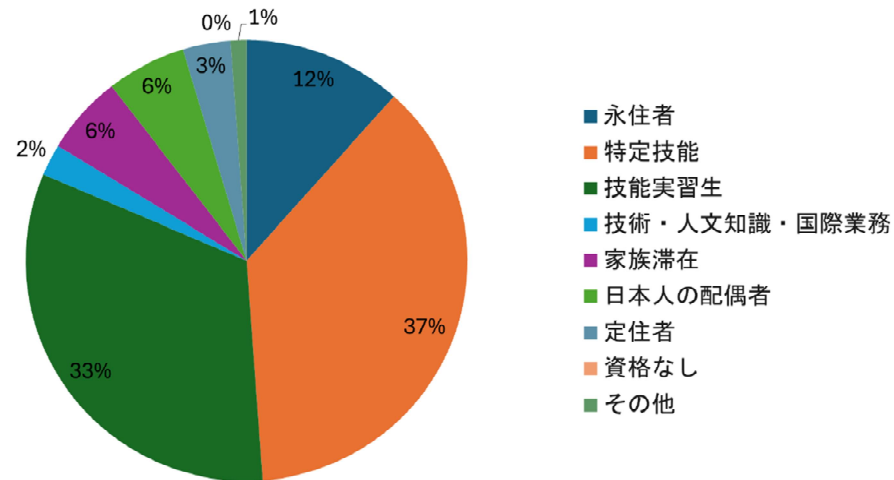
問4 あなたは何歳ですか？（○は1つ）



問5 あなたの国籍はどれですか？（○は1つ）



問6 あなたの在留資格は何ですか？（○は1つ）



【問5 その他】

ウズベキスタン・バヌアツ・バングラデシュ・ネパール帰化

【問6 その他】

ネパール帰化

- ・問5/問6ともに、実際の登録状況と異なる。
今後、今回アンケート調査ができなかった
国籍・在留資格の人に向けた調査が必要。

【参考】

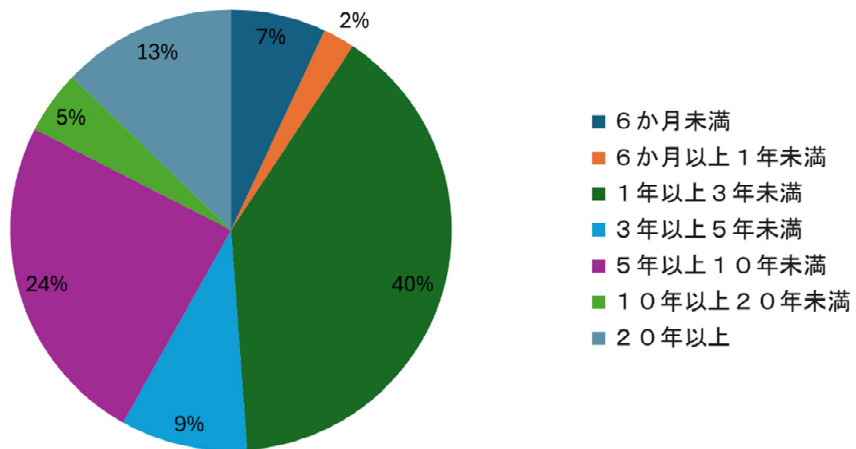
駒ヶ根市に登録のある外国籍市民国籍割合（2025年4月1日時点）

ベトナム	24%
中国	20%
インドネシア	16%
フィリピン	10%
ブラジル	9%

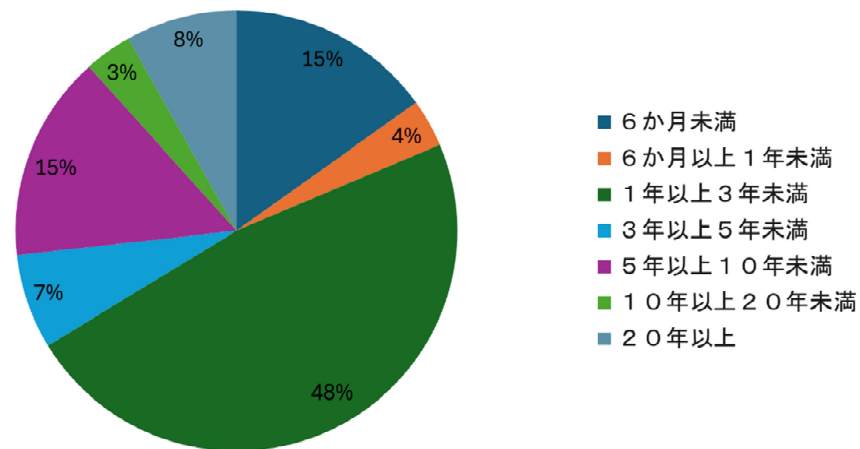
駒ヶ根市に登録のある外国籍市民在留資格（2025年4月1日時点）

永住者	33%
特定技能	22%
技能実習生	14%
技術・人文知識・国際業務	7%
家族滞在	5%

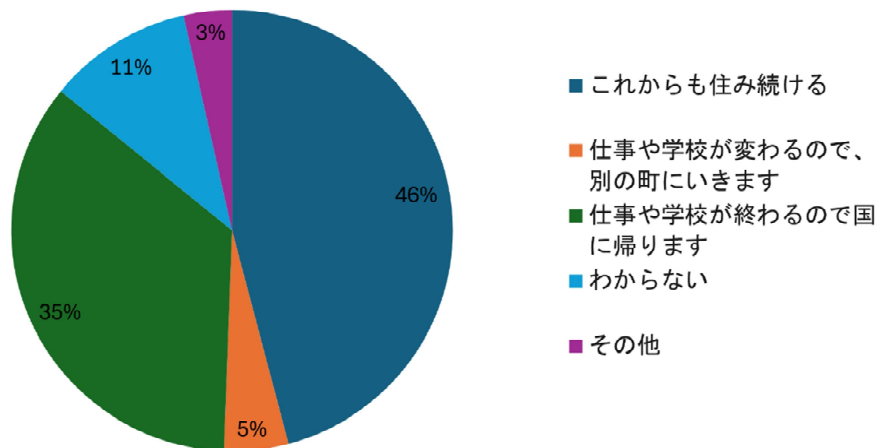
問7 あなたは日本にどのくらいすんでいますか？（〇は1つ）



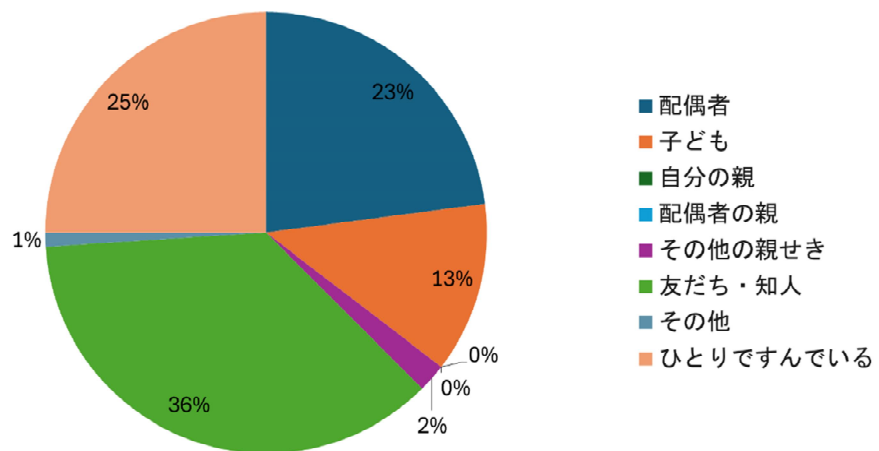
問8 駒ヶ根市にどのくらいすんでいますか？（〇は1つ）



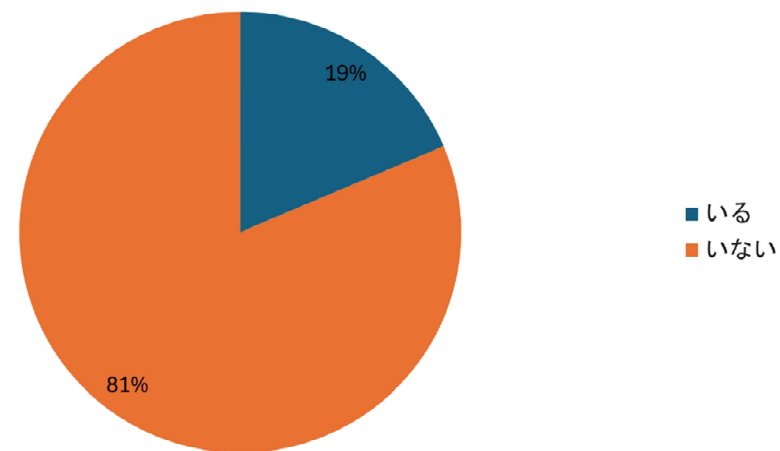
問9 これからも駒ヶ根市にくらす予定がありますか？（〇は1つ）



問10 あなたは誰とっしょにすんでいますか？（〇はいくつでも）

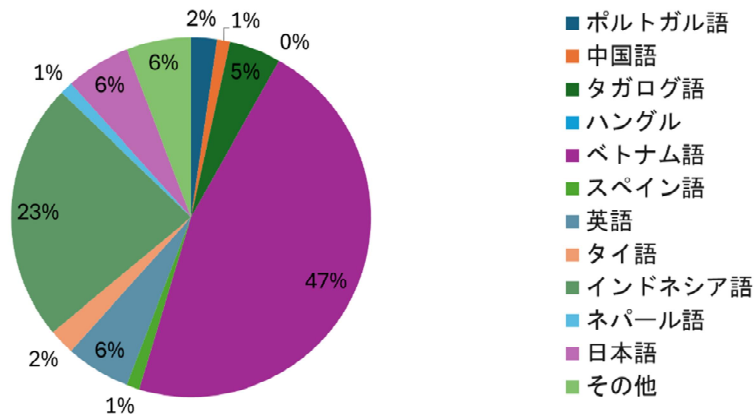


問11 いっしょにすんでいる人に、日本人はいますか（〇は1つ）



2.ことばについて

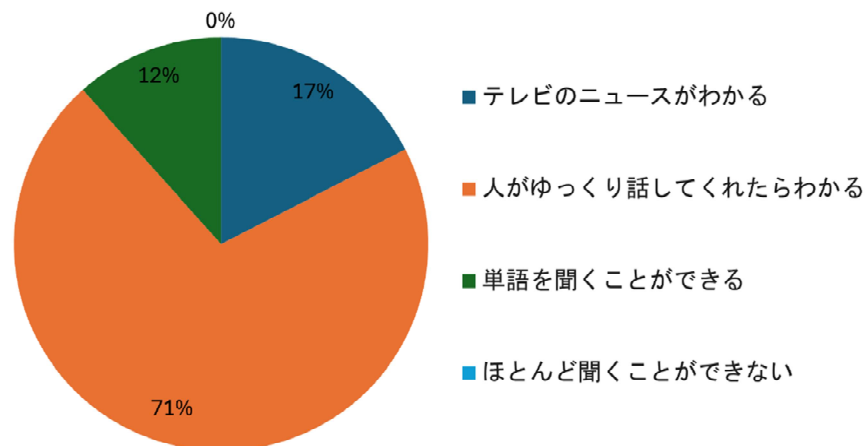
問12 あなたのもっとも上手な言葉はどれですか？
2つ以上の言葉が上手な人は、
読んだり書いたりすることが上手な言葉の番号に○を書いてください。
(○は1つ)



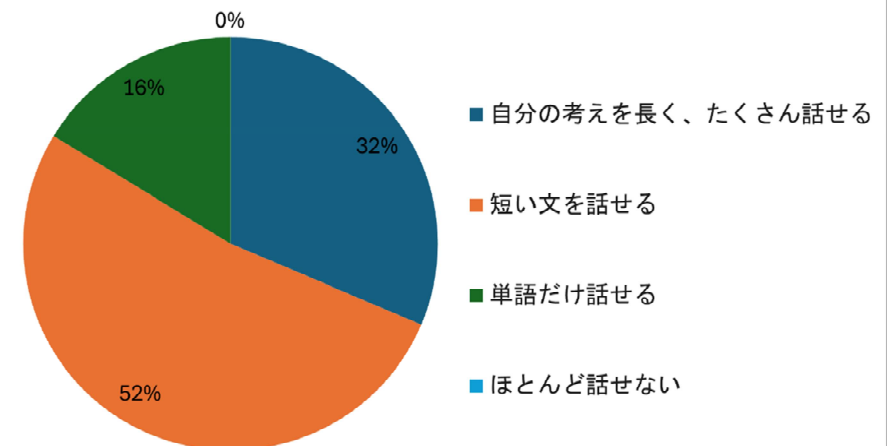
【問12 その他】

- ・ウズベク語
- ・ビサヤ語
- ・ベンガル語

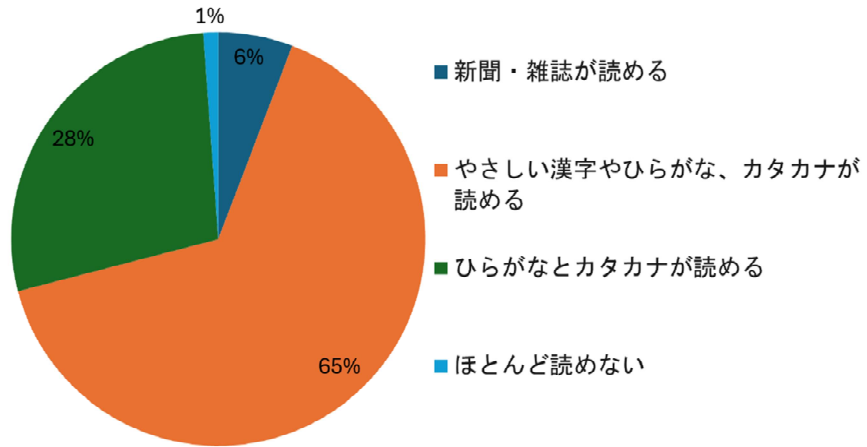
問13 あなたは日本語がどのくらいできますか。
聞く (1つずつ)



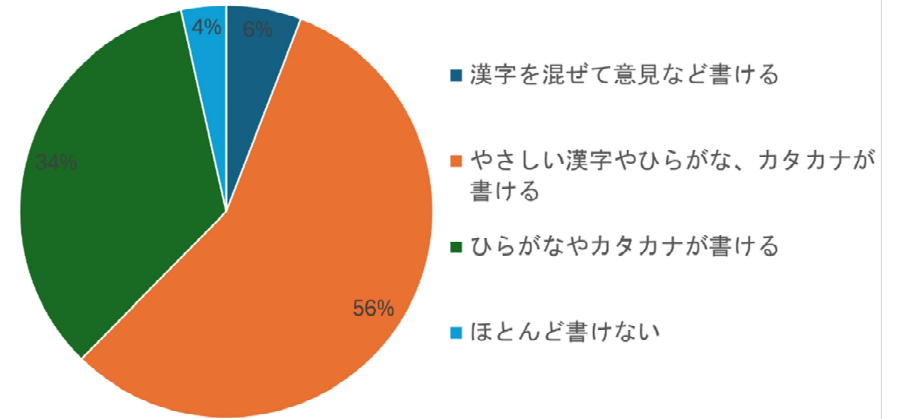
問13 あなたは日本語がどのくらいできますか。
話す (○は1つずつ)



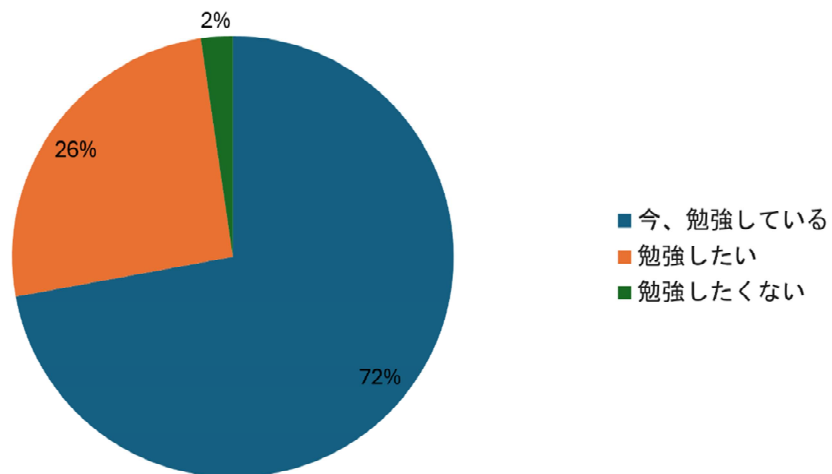
問 1 3 あなたは日本語がどのくらいできますか。
読む (○は1つずつ)



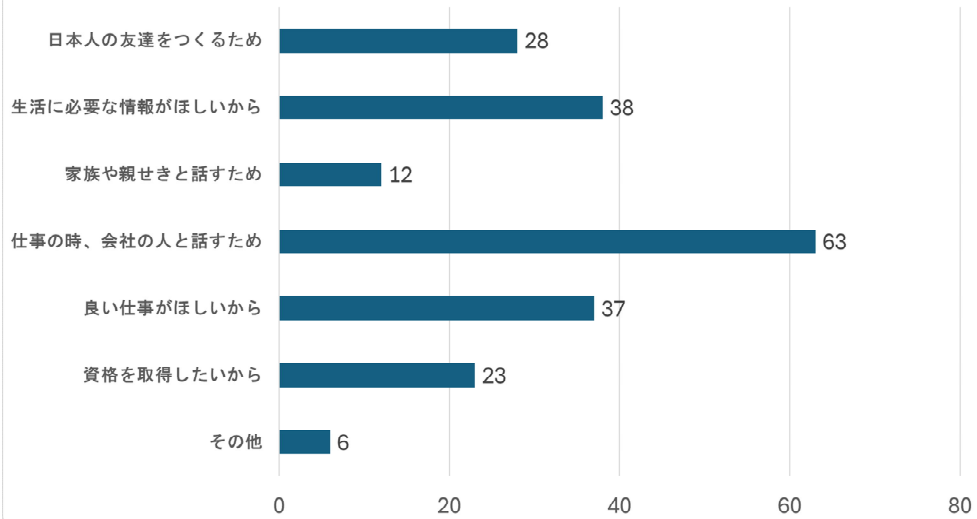
問 1 3 あなたは日本語がどのくらいできますか。
書く (○は1つずつ)



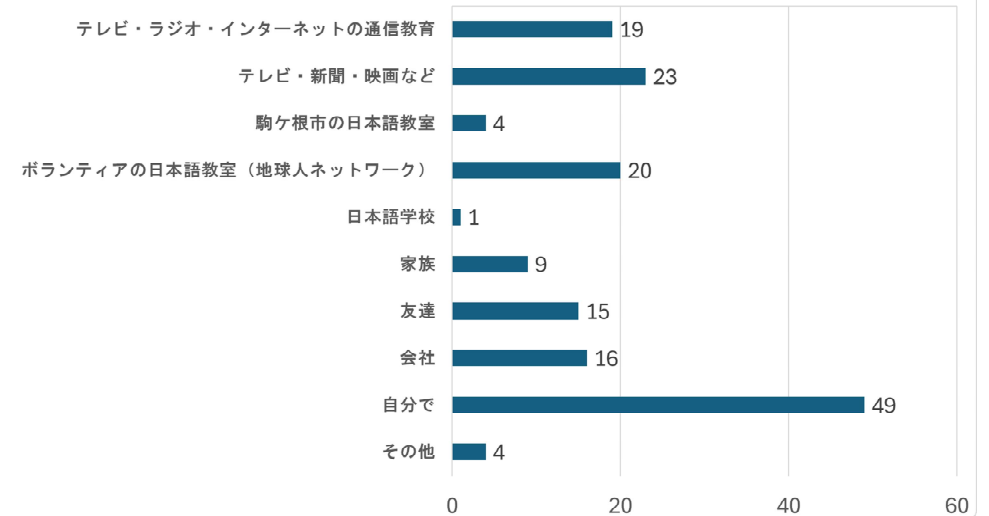
問 1 4 日本語を勉強したいですか。(○は1つ)



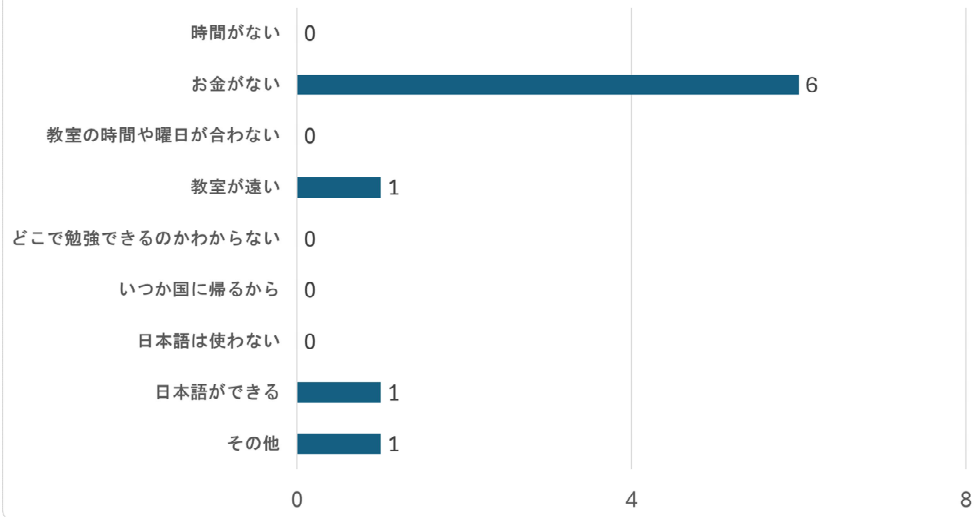
問 1 4-1 なぜ日本語を勉強しますか？ (〇はいくつでも)



問 1 4-2 どうやって勉強していますか？ (〇はいくつでも)



問 1 4-3 どうして勉強したくないのですか？ (〇はいくつでも)



【14-1 その他】

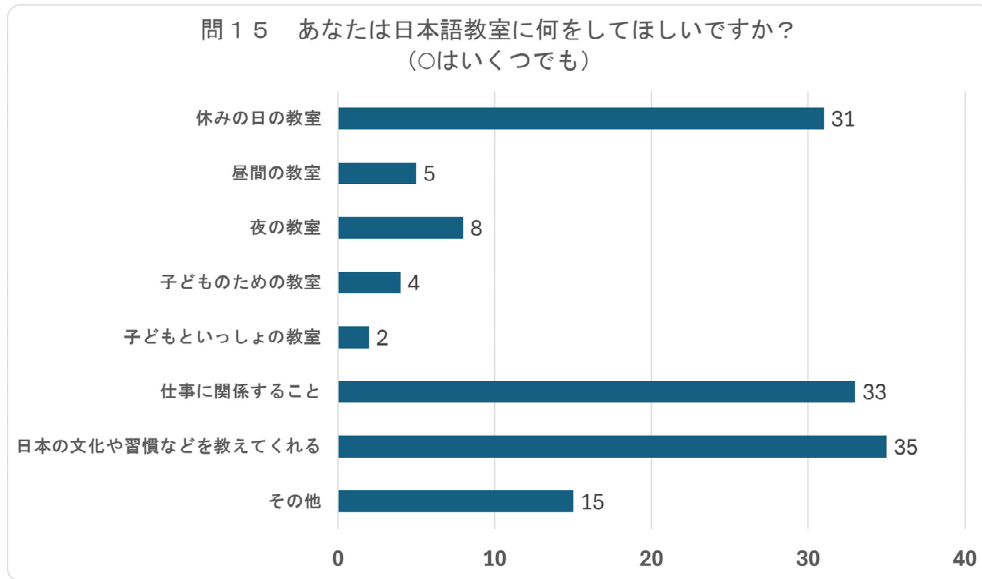
- ・他の国の友だちと話すため。
- ・日本にいるから。
- ・ボランティアなど日本人と話す機会が多いから。
- ・日本文化/食べ物のことを知りたい。

【問 14-2 その他】

- ・YouTube
- ・アプリ
- ・日本語ポッドキャスト
- ・歌
- ・本

【問 14-3 その他】

- ・難しい



【問15 その他】

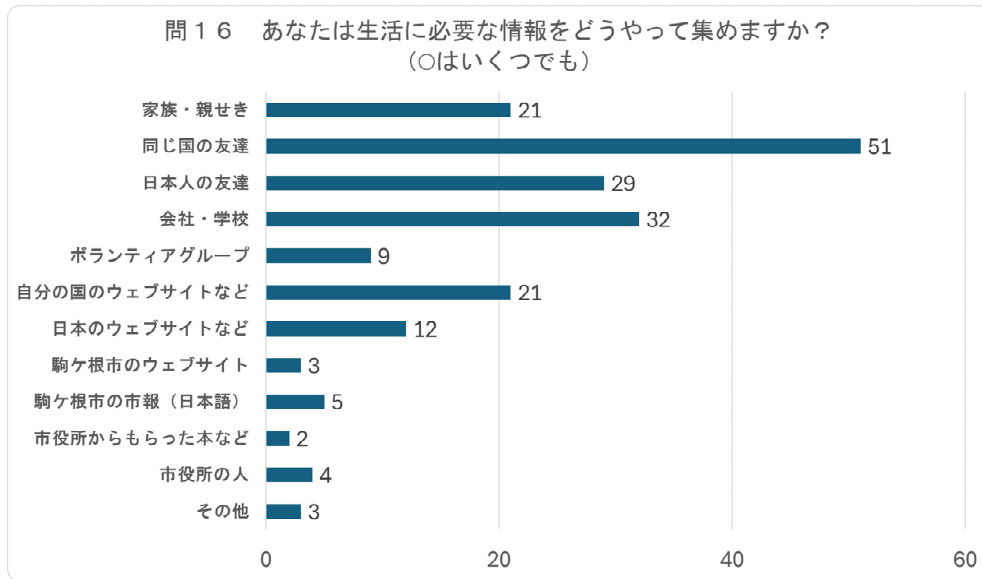
- ・近くに子どもを預ける場所がほしい。
- ・イベントと一緒に参加したい。
- ・いろいろな国の人と話したい。
- ・いろいろな国の文化を教えてくれる教室。
- ・日本語の書き取り練習をしたい。
- ・早くたくさん言葉を勉強したい。
- ・もっと近くにほしい。
- ・フレンドリーで良い先生がいる教室。
- ・孫と一緒にの教室。
- ・たくさん話せる教室。

・問14-1、問15ともに仕事に関する事への需要が高い。

問15

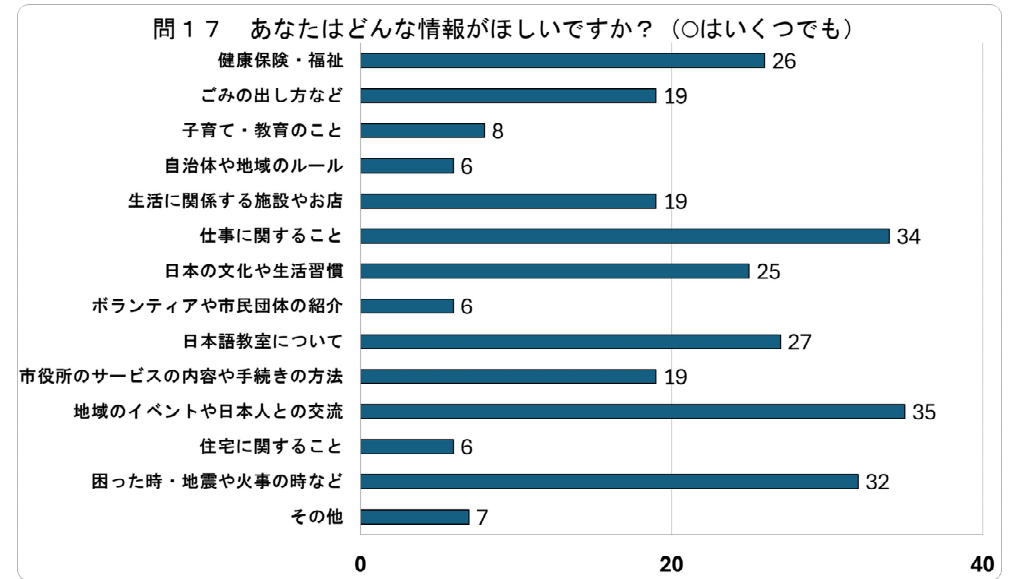
- ・日本の文化や習慣などを教えてほしい人が多い。
- ・休みの日の教室への希望は多いが、シフト制勤務で働いている人も多い。

3.地域での生活や人間関係



【問16 その他】

- ・ 回覧板
- ・ 新聞
- ・ フリーペーパー

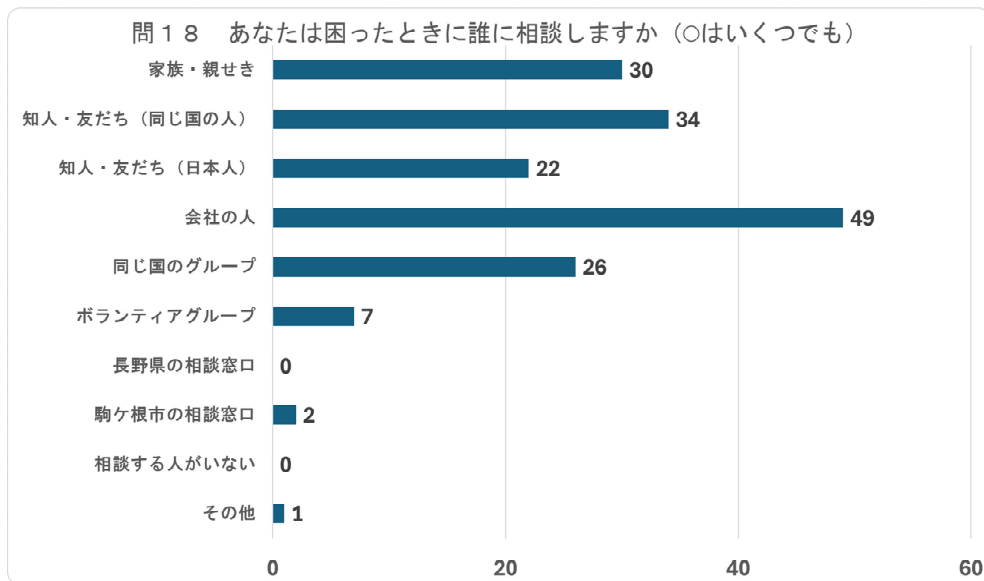


【問17 その他】

- ・ 子どもを預けるボランティアについて
- ・ お金
- ・ カウンセリング
- ・ スポーツ/天気
- ・ 日本で生活がしやすくなる情報

問17

- ・ 企業アンケートで問題視されていた「ゴミ」「住宅」に関する情報の需要は低い。各企業の担当者の努力がうかがえる。
- ・ この問いでも、仕事に関すること/日本の文化や生活習慣に関する情報への需要が高いことが分かる。



【問 18 その他】

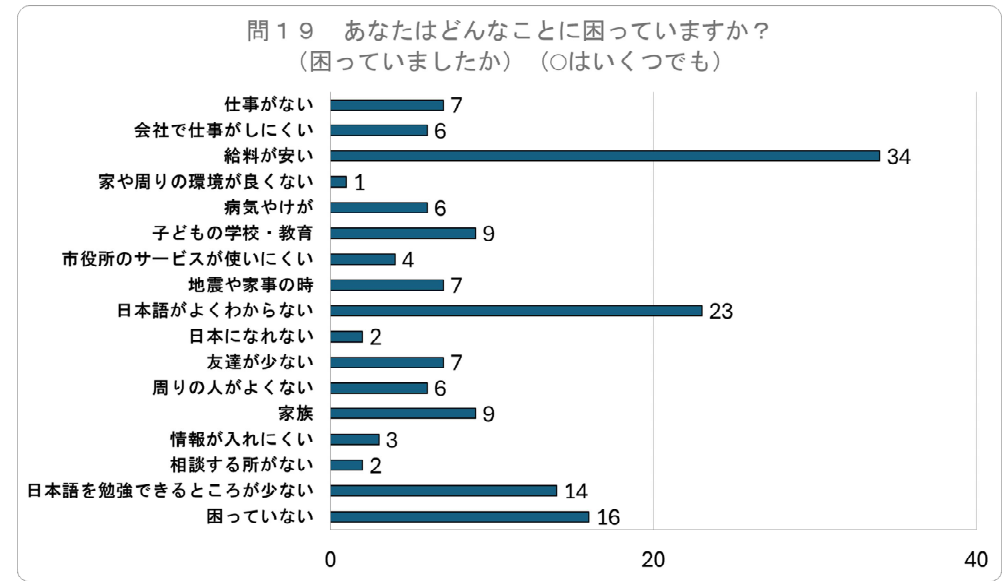
- ・ 地域の人

問 18

- ・ 会社の人に相談している人が多い。

問 19

- ・ 給料が安いという回答が多かった。
補助などで本人が負担している費用の軽減ができると良い。



【問 19 その他】

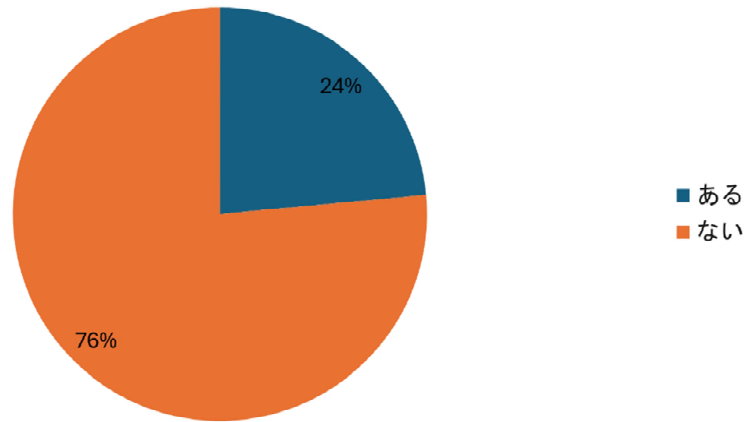
- ・ 年金
- ・ お金
- ・ 物価が高くなっている。
- ・ 雪の道路の運転。

問 19 自由記述 一部抜粋

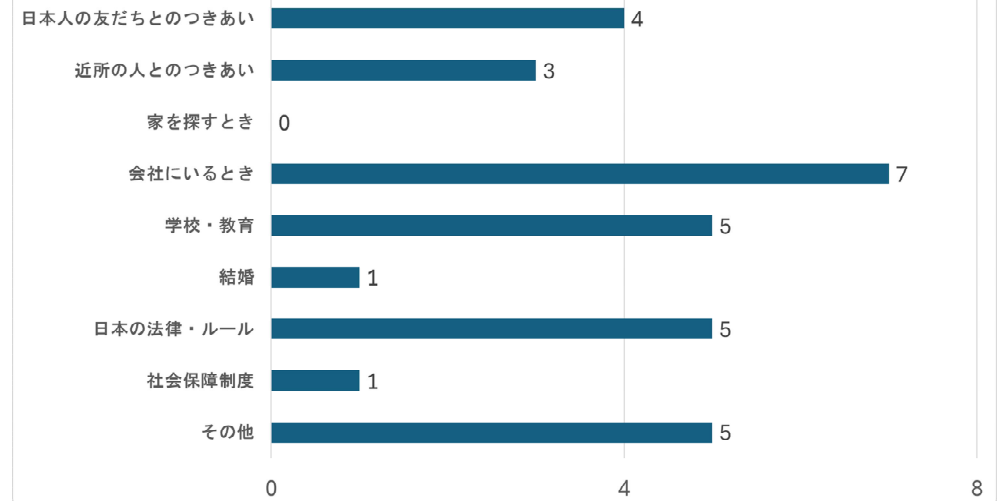
あなたはどんなことに困っていますか？ (困っていましたか)

- ・ 税金が高い。
- ・ 給料だけでは生活費が足りない状況。
- ・ 近所の日本人にいじめられている。子どもがうるさいと言われる。
- ・ 一緒に住んでいる人との人間関係 (外国籍同士)

問20 あなたは外国籍であるということで、
いやな思いをしたことがありますか？（〇は1つ）



問20-1 どんなときにいやでしたか？（〇はいくつでも）



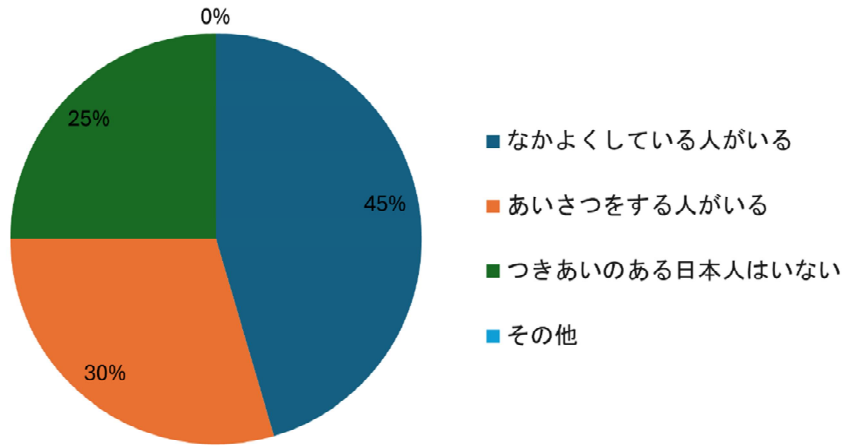
【問20-1 その他】

- ・習慣。静かにすること。たまにはぎやかにしたいです。
- ・ヒジャブをしているので周りの日本人から見られること。
- ・銀行口座開設。
- ・最近の担当者は言い方がきつく優しくない。
- ・ビザ更新するとき。

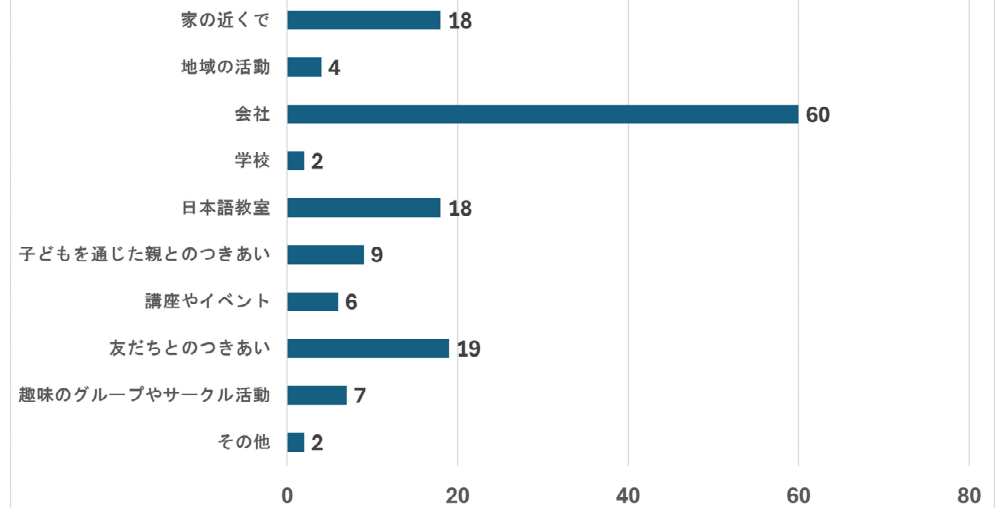
問20-1

- ・企業アンケートで問題視されていた住居確保で嫌な思いをした人はいなかった。
技能実習生・特定技能として働いている人が多く、会社で住居の手続きをしてくれているからだろう。

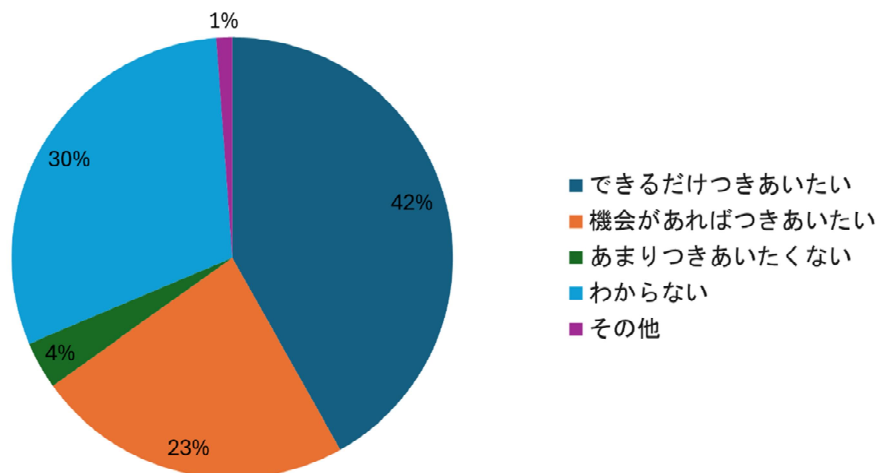
問2 1 あなたは、家の近くや会社などで、日本人とのつきあいがありますか？（○は1つ）



問2 2 つきあいがあるのはどういときですか？（○はいくつでも）



問2 3 日本人とのつきあいについてどう思いますか？（○は1つ）



【問2 2 その他】

- ・教会

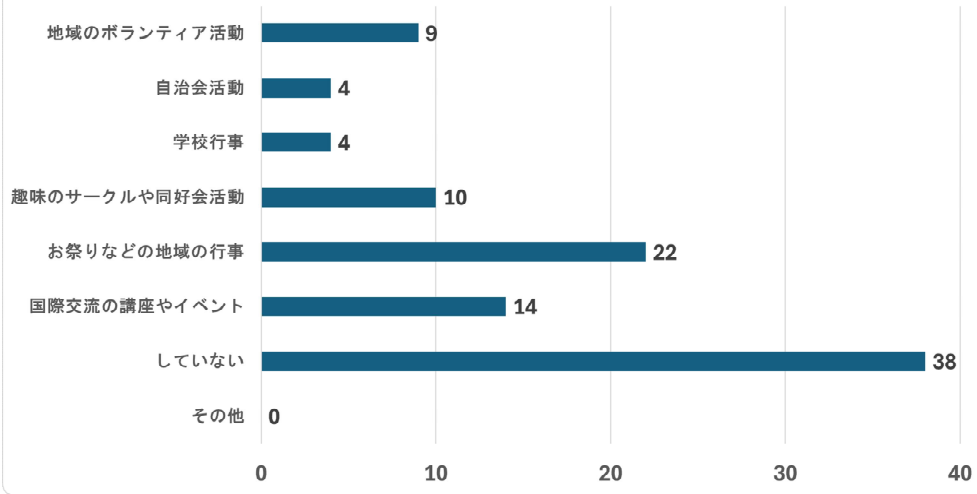
問2 2

- ・会社以外での日本人との関わりが少ない。

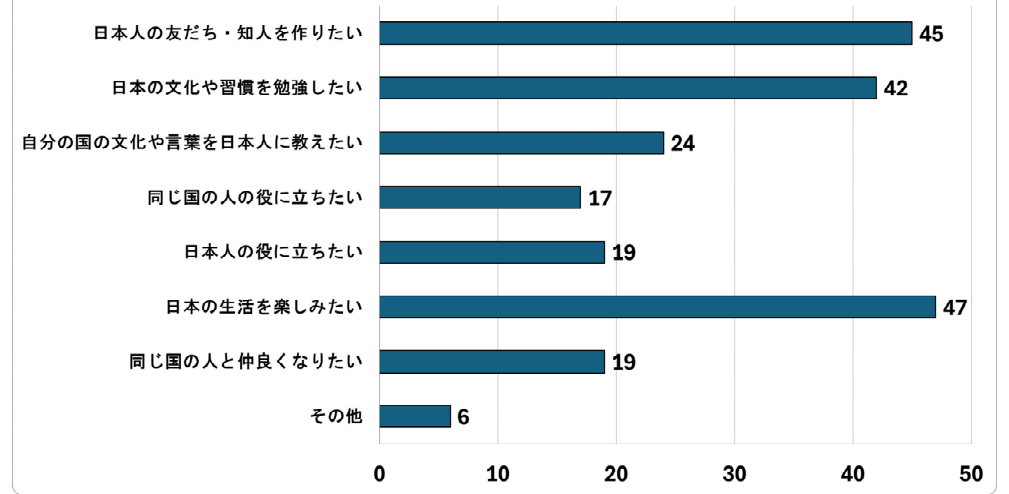
問2 3

- ・設問の意図を理解できていない人が「わからない」と回答している可能性がある。

問24 あなたは地域でどんなことをしていますか？
(〇はいくつでも)



問25 あなたがこれからしたいと思うことは何ですか？
(〇はいくつでも)



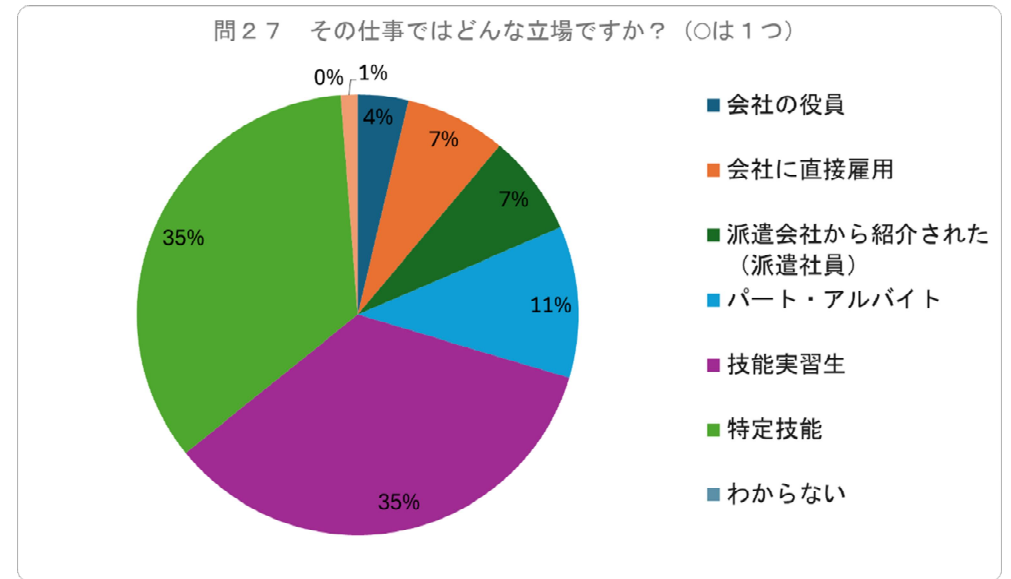
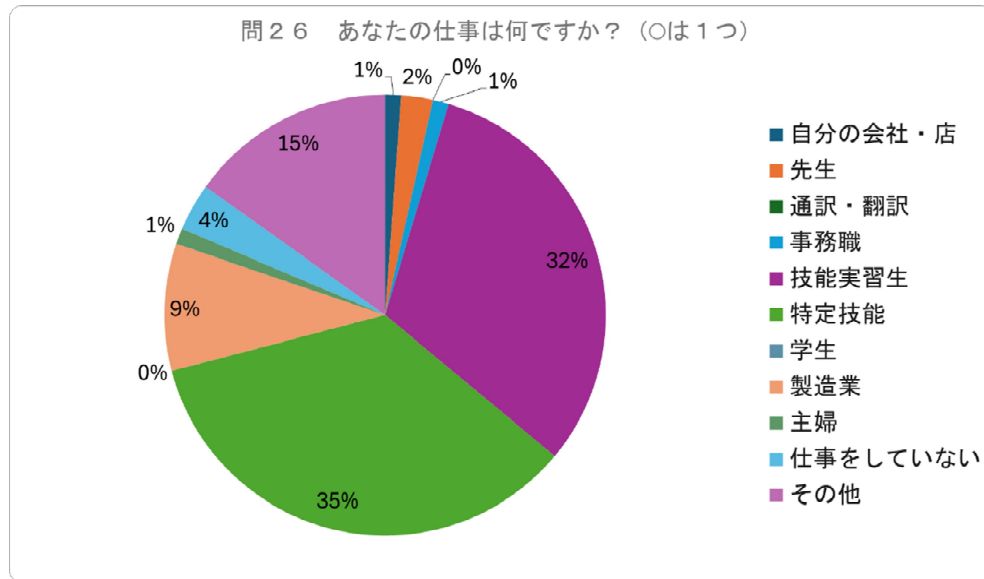
【問25 その他】

- ・ボランティア
- ・ダンスで交流したい
- ・わからない
- ・結婚したい
- ・ない

問25

- ・4人に1人は自分の国の文化や言葉を日本人に教えたいと考えていることが分かった。

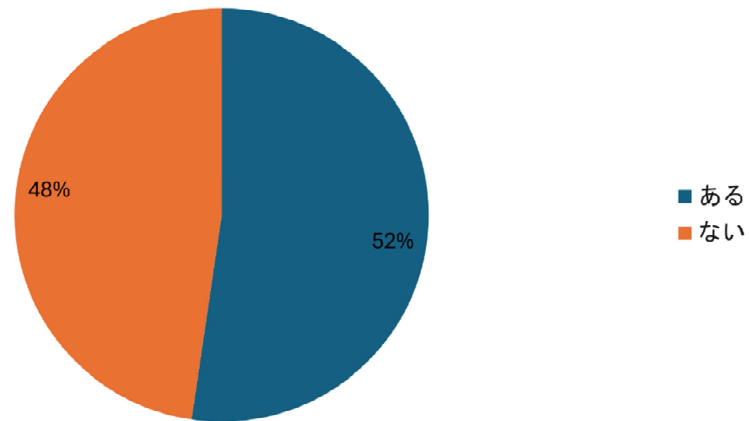
4.仕事について



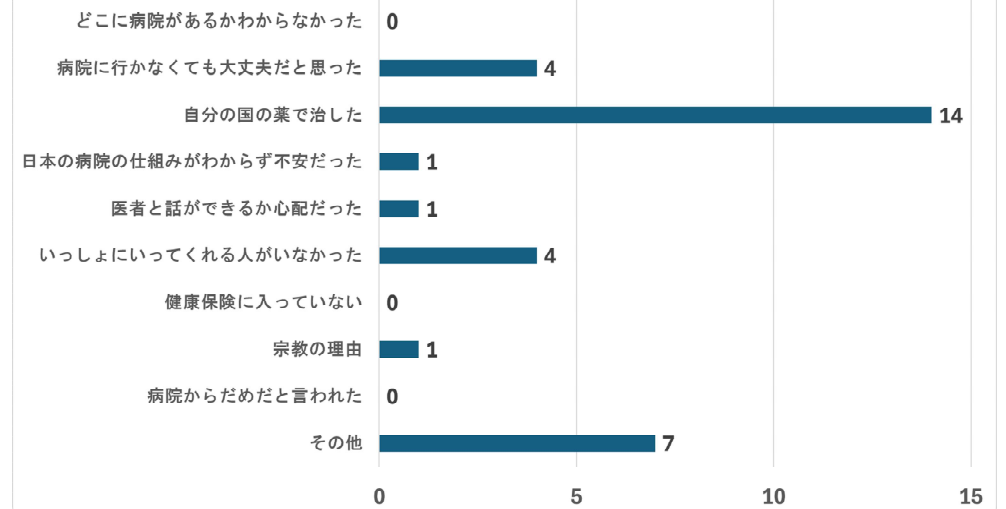
問26 問27ともに誤解して回答している人が多かった。設問に工夫が必要。
(例 問26：業種 問27：雇用形態)

5.医療・保健・福祉について

問28 あなたやあなたの家族は病気やけがで病院にいったことがありますか？（○は1つ）



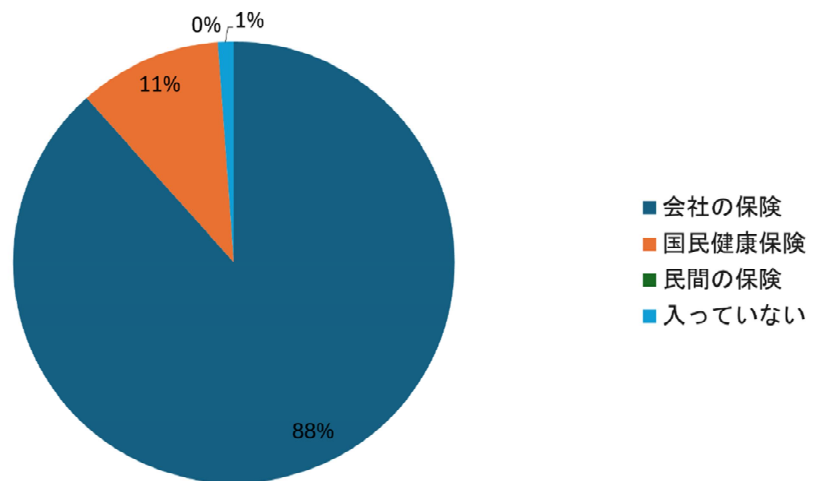
問28-1 なぜ病院にいきませんでしたか？（○はいくつでも）



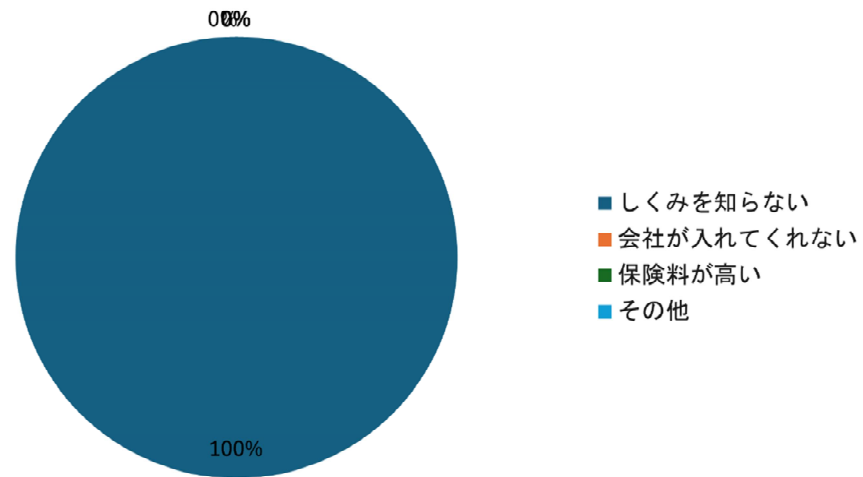
問28-1

・その他の回答は7件すべて「まだ病気になっていない」。

問29 あなたは医療保険に入っていますか？（〇はいくつでも）

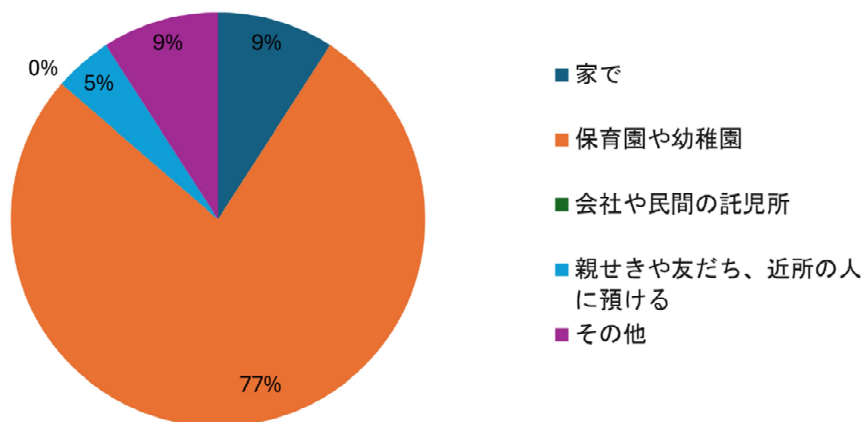


問29-1 なぜ入っていませんか？（〇はひとつだけ）

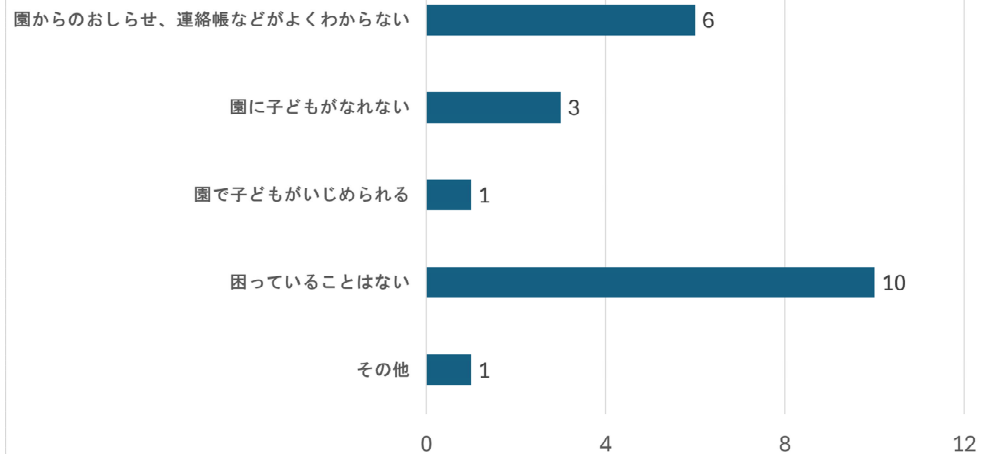


6.子育てについて

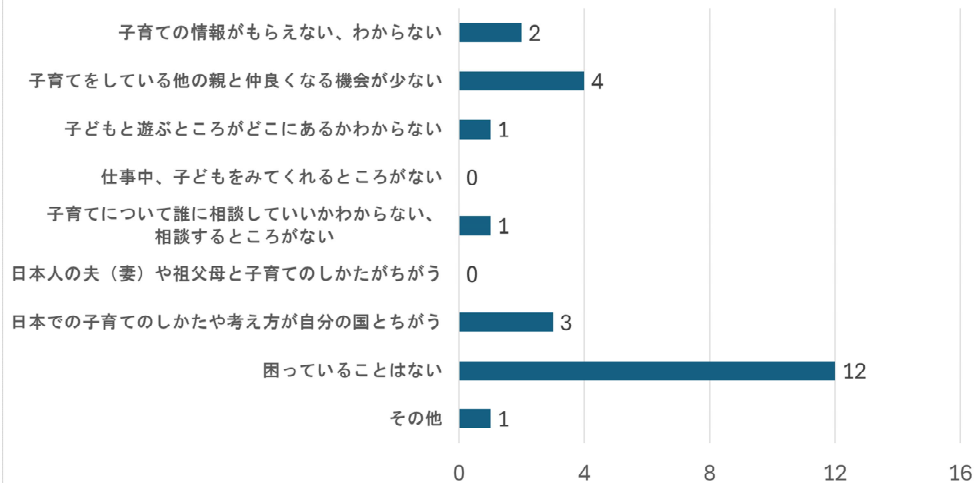
問30 小学校に入る前の子どもをどうやって子育てしていますか？
(いましたか) (〇は1つ)



問30-1 保育園や幼稚園で困っていることは何ですか？
(〇はいくつでも)



問31 駒ヶ根市で子どもを育てるのに困ること
(困ったこと)は何ですか？ (〇はいくつでも)



【問30 その他】

- ・ベトナムにいる
- ・ネパールで育てた

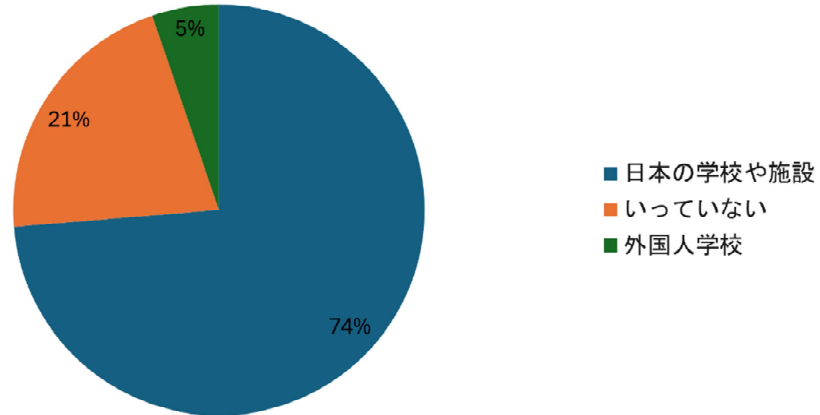
【問30-1 その他】

- ・うまく伝えられない事

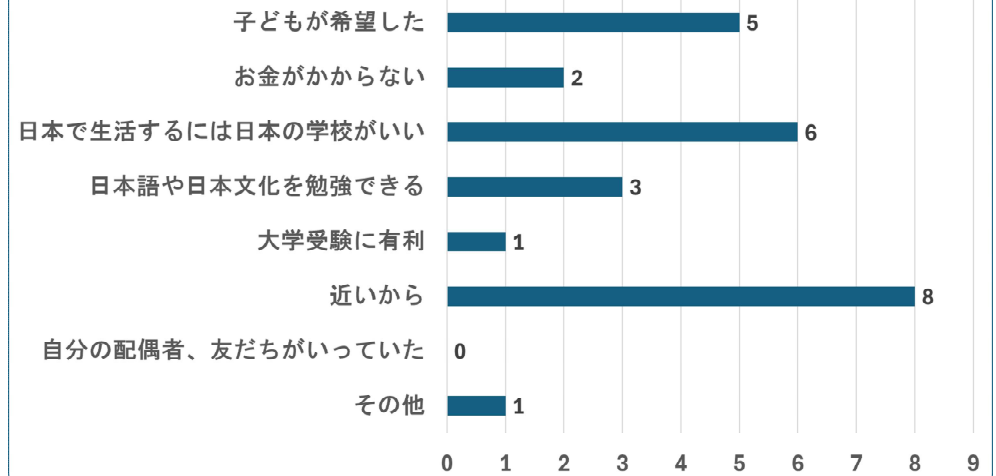
問30-1 問31ともに、
「困っていることはない」という回答が一番多かった。

7.学校について

問3 2 あなたのお子さんはどこで勉強していますか
(勉強しましたか) (〇は1つ)

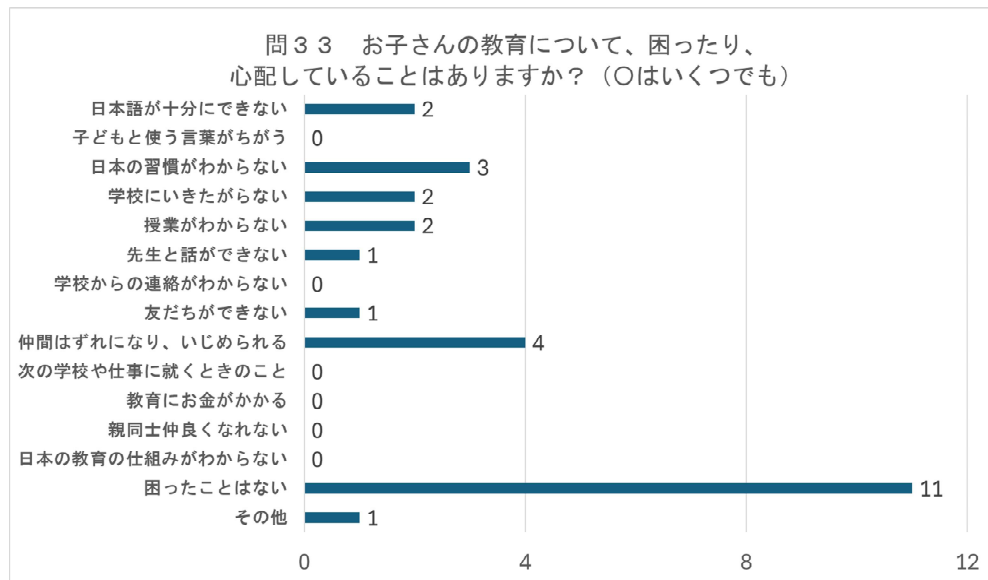
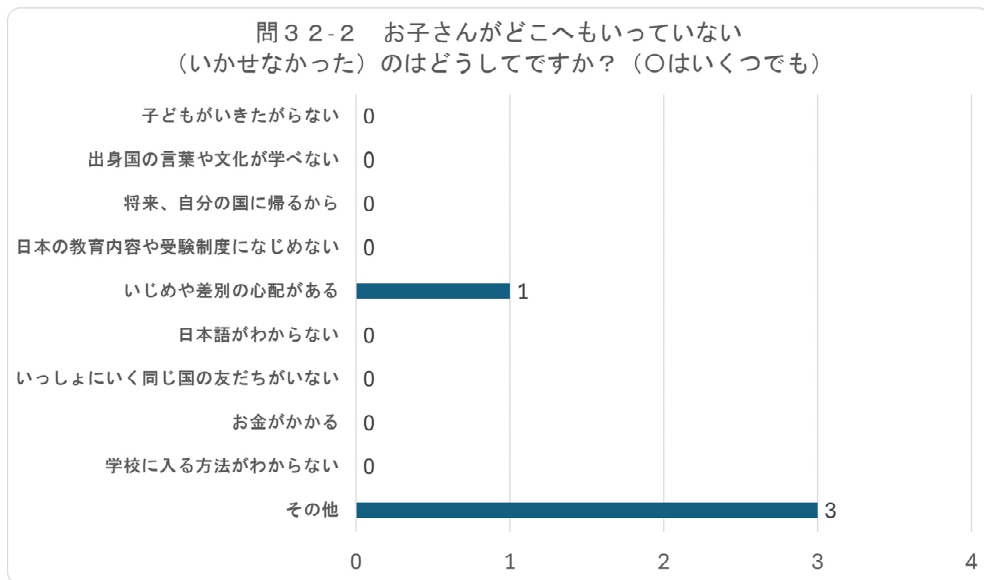


問3 2-1 日本の学校や施設を選んだ理由は何ですか
(〇はいくつでも)



問 32-1

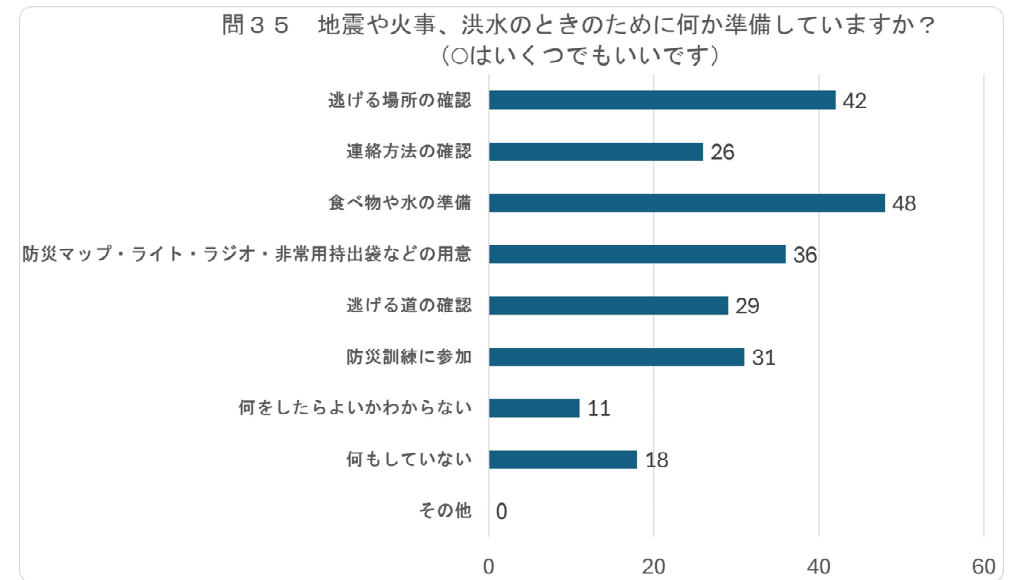
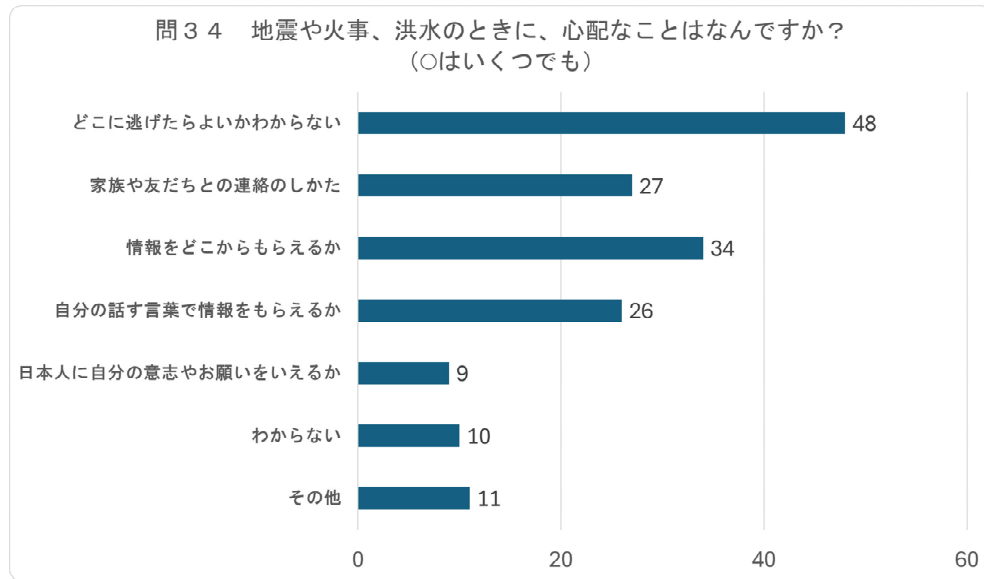
- ・選んだ理由が特になく、回答に困っていた人が多い印象。



【問 32-2 その他】

- ・ネパールで育てている
- ・子どもがいないのに回答している人がいた。
問 32-2 の前に子どもの有無を答える質問が必要だと感じた。
- ・6. 子育てについて／7. 学校について 該当者が少なく、分析するには不十分である。

8.災害時の対応について



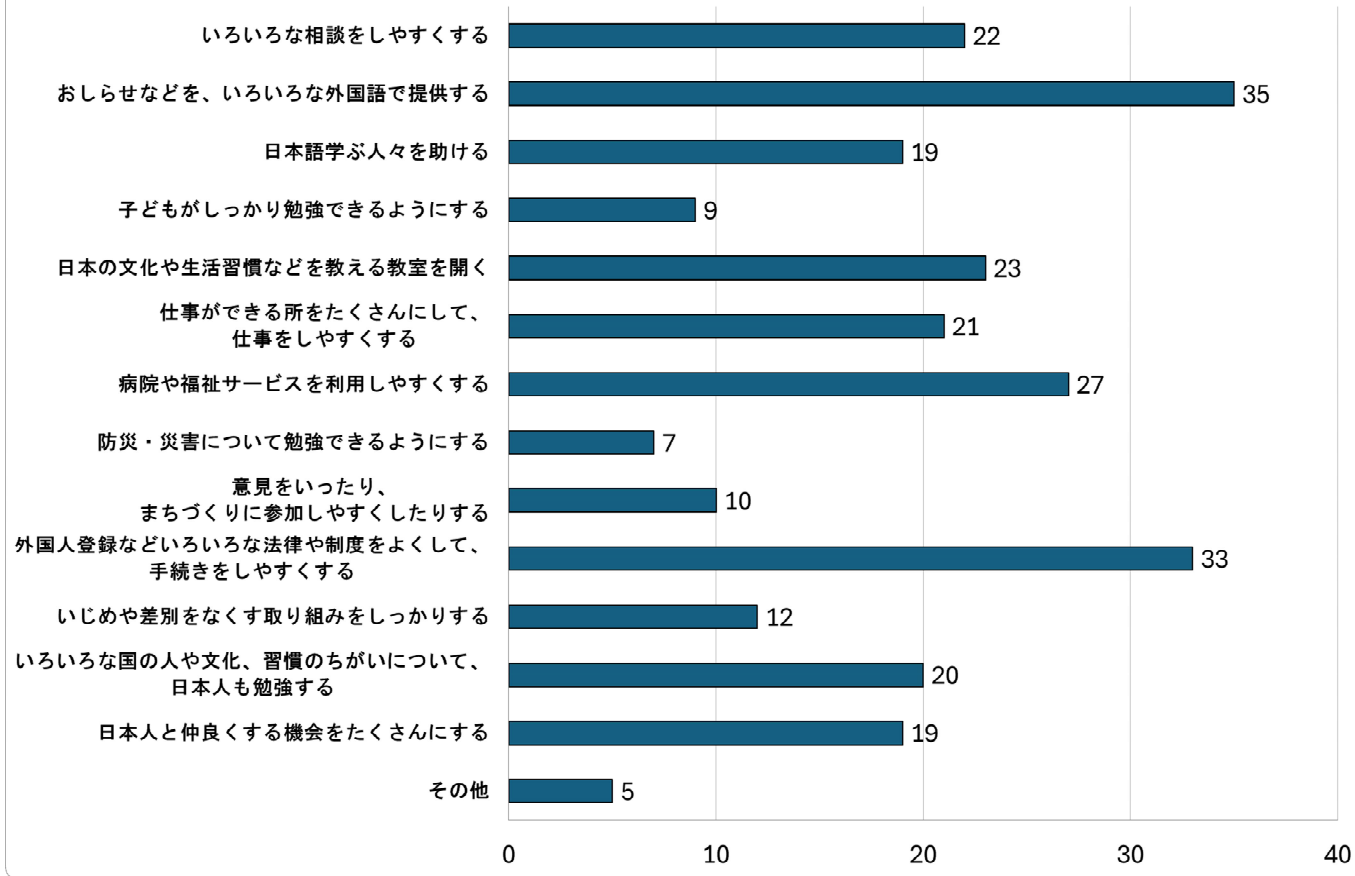
問3 4

・その他の回答は「心配なことはない」。

「心配なことはない」という選択肢も必要なのではないか。

9.外国籍市民と日本人がいっしょに安心してくらせるまち

問36 みなさんが安心してくらせるまちをつくるために、
駒ヶ根市は、何をすべきですか？（〇は3～5こまで）



問36

- ・すべて必要であるという意見もあった。
- ・問16で行政からの情報を集めている人が少なかったのは、お知らせなどが外国語で提供されていなかったからではないか。外国語での提供を増やせば行政からの情報を集められる人を増やせるのではないか。

10 駒ヶ根市にすんでいてあなたが感じることを自由にお書きください。

(以下一部抜粋)

<良いところ>

- ・地球人ネットワークのおかげで、他の町より外国人の方が参加するイベント、チャンスが多い。
- ・地球人の教室があり、色々なことを学べる。感謝している。
- ・食べ物が美味しく安い。
- ・スーパーが多い。ツルヤがある。
- ・住みやすい場所。人が明るく優しい。
- ・外国人に対応できる体制がある。(通訳・病院のサービスがあり安心)
- ・福祉サービスが良い。
- ・市役所のサービスが使いやすい。
- ・山が良い。景色が綺麗。自然豊か。

<よくわからないこと>

- ・救急の病院の受診の仕方
- ・婦人科の検診を受けたいがどうしたらよいかわからない。
- ・災害時の対応。どこに逃げたらよいか。情報をどこからもらえるか。
- ・地域のルールやイベントについてまだよくわからない。
- ・医療保険の仕組み
- ・交通ルール
- ・日本の祝日
- ・施設やサービスの情報の探し方や利用方法(対大都市比)

<悪いところ>

- ・外国人向けサービスが少ない。
- ・車がないと不便。交通が悪い。(電車が少ない。バスがない。)
- ・坂道が多い。
- ・買い物や娯楽施設の不足。
- ・ゴミを捨てにくい。
- ・街灯が少ない。歩道がない所もあって危険。
- ・外国人にとっての仕事の人間関係が難しい。
- ・自転車に乗る人のマナーが悪い。

令和7年度実施駒ヶ根市外国籍市民意識調査結果考察

前回のアンケート結果と比較して、顕著な変化があった・留意事項がある項目について考察した。

1 アンケート回収方法について

平成22年度、平成27年度の調査では対象者全員に日本語版と各言語(ポルトガル語版・中国語版・英語版)のいずれ一種類を送付し、どちらか一方に回答し、返送してもらう方法にてアンケートの依頼を行った。今回は郵送にてアンケート依頼を行わず、①グローバルプログラム実習生による聞き取り調査、②日本語教室でのアンケート依頼、③Google フォームにてアンケート依頼(チラシ配布、地球人ネットワーク in こまがね LINE グループに URL 貼り付け)、④外国人雇用事業者に依頼 といった方法でアンケートの回収を行った。

それに伴い、前回・前々回のアンケートでは概ね実態にあった国籍や在留資格の割合でアンケートの回収を行うことができたが、今回のアンケート調査ではアンケート回答者の国籍や在留資格の割合が実際に登録のある外国籍市民の割合と大きく異なっている。さらに前回・前々回のアンケートでは日本語理解の項目において、「聞く・話す・読む・書く」の4項目で、「ほとんどできない」という人からの回答もあったが、今回は日本語版のアンケートを主に用いたので、「ほとんどできない」人からの回答は難しく、「ほとんどできない」人からの回答は、前回・前々回のアンケートと比較すると大幅に少なくなっている。

より正確なデータを集めるという観点・経年調査を行うという観点から、郵送による追加の調査や多言語対応したアンケートを使用した調査などの必要がある。

2 今回のアンケート調査で多かった外国籍住民の属性について

前回・前々回のアンケート調査では永住者や日本人配偶者、定住者による回答が8割を超えていたが、今回の調査で回答が多かったのは技能実習生や特定技能からの回答で、今回のアンケート調査ではこの2つの在留資格の割合を合わせると70%である。また回答者の年齢の56%が20代、日本に住んで3年未満の人が49%という結果になっており、今回のアンケート調査では、働くために来日し、まだ数年しか日本での生活経験がない若者からの回答が多いということが分かる。生活も61%が一人暮らしか友人や知人とのシェアハウスでの生活であり、結婚や子育てをしている人からの回答は多くない。

3 日本語学習について

前回・前々回のアンケートと比較すると、「問 14-1 なぜ日本語を勉強しますか。」「問15 あなたは日本語教室に何をしてほしいですか。」の項目で、仕事に関する回答をする人が大幅に増加している。今回アンケート回答者の大半を占める技能実習生や特定技能の人が仕事のために日本に来ているからだろう。特に、「問 14-1 なぜ日本語を勉強しますか。」の項目では、アンケートの回答者の73%が、「仕事の時、会社の人と話すため」を日本語学習の理由としてあげている。前回のアンケートでは、この理由を日本語学習の理由にあげている人はアンケート回答者の46%であった。

これらの結果から、日本に滞在している理由によって日本語を学ぶ理由や日本語教室に求めることが異なっていることが分かる。日本語の学習支援を行う際には対象者のニーズを理解し支援を行う必要がある。

4 生活に必要な情報について

「問16 あなたは必要な情報をどうやって集めますか」「問18 あなたは困った時に誰に相談しますか」の設問に関して、前回の調査の際にも行政が提供するサービスを利用していない人が依然として多いという指摘があったが、今回のアンケート調査でも利用している人が少ないという結果になった。駒ヶ根市で生活する理由や期間に関わらず、行政の提供するサービスから情報収集や困りごとの相談をする人は少ないようだ。駒ヶ根市の外国人向けの情報提供の体制や相談体制への改善が求められる。

5 日本人とのつきあいについて

「問20 あなたは外国籍であるということで、いやな思いをしたことがありますか」という設問で、嫌な思いをした人が前回・前々回のアンケートと比較して減っていることが分かった。今回のアンケート調査では日本での生活期間が短い人からの回答が多かったため、嫌な経験をする機会が長期在住者と比較して少なかったことも理由の一つとして考えられる。

また、「問21 あなたは、家の近くや会社などで、日本人とのつきあいがありますか」という設問で、「つきあいがいない人」と回答した人が25%である。つきあいがある人も会社でのつきあいが回答者全体の70%と突出しており、職場以外での日本人との関わりは少ないことが読み取れる。さらに、「問24 あなたは地域でどんなことをしていますか」という設問でも、アンケート回答者の半数以上の56%が「していない」と回答していた。会社以外で日本人とのつきあいが少ない現状がある。

6 災害への備えについて

「問35 地震や火事、洪水のときのために何か準備していますか」という設問で、「特に何もしていない」という回答が7%だった。前回は23%、前々回の30%だったので、前回・前々回のアンケートと比較して減少したことが分かる。また、行っている準備として、「逃げる場所の確認」「食べ物や水の準備」に限らず幅広い備えをしていることが分かった。

7 行政への期待

今回のアンケート調査と前回・前々回のアンケート調査と比較して回答者の属性は異なるが、行政への期待として、「おしらせなどを、いろいろな外国語で提供する」「外国人登録などいろいろな法律や制度をよくして、手続きをしやすくする」をあげる人が多いことが共通していた。多文化共生を推進していくためにこの二つは必要な施策なのではないだろうか。

8 今後に向けて

郵送だと設問によって回答者数のバラつきがあったので無回答や無効な回答が多かったと推測できる。今回のアンケート調査でも対面ではない調査だと無回答や無効な回答(単一選択の質問に複数選択など)があった。対面だと質問者が確認しながら回答を集められたので、回答の質が担保できる。よって今後も対面でのアンケート調査も継続できると良い。